

## ご意見の内容及びご意見に対するご回答

意見提出元：匿名4

No	該当箇所	ご意見の内容	ご回答
1	P.16, 18 「1:N 無線方式」について	<p>&lt;意見内容&gt;</p> <p>「1:N 無線方式」において、地域 WiMAX 等の地域ネットワークの利用し、自治体・地域防災とコラボレーションできる API, Interface 仕様を盛り込む</p> <p>&lt;理由&gt;</p> <p>コストダウン、エコ促進につながる可能性が考えられる。</p> <p>①汎用 IP 技術利用による機器のコストダウン ②自治体とのコラボレーションによる運用コスト削減 ③エコ促進コンテンツによるエコ・メーター導入促進 ④有料コンテンツによる + <math>\alpha</math> の収益</p> <p>※別紙 資料添付</p>	<p>いただいたご意見については今後の通信方式選定時の参考にさせていただきます。通信方式の選定においては、コスト、技術の優位性、今後の普及や長期利用の見込み等の見極めが重要となるため、確立された標準規格の採用を原則として、今後、RFP と技術実証により詳細に評価する予定です。</p>
2	P.23 Ⅲ-2. 主要機能(3) ~ 収容制限機能	<p>&lt;意見内容&gt;</p> <p>コンセントレータが通信ユニットの許容数を超えることにより通信障害が発生することを許していますが以下の対策等で通信障害の発生を防ぐと考える。</p> <p>&lt;理由&gt;</p> <p>(対策案) 近隣する通信ユニットが”グループ”を構成可能になるように、例えばグループ名を設定可能にするマルチホップ通信が各グループ内で実施されるように手順化し、またコンセントレータが情報を受信するグループを選択できるように管理する。</p> <p>以上の手順を実現することにより、通信ユニット設置時にグループ化するユニット数を管理することで障害を起こさない通信(コンセントレータの許容数以内に抑える)が確保できると</p>	<p>いただいた通信障害の発生防止についてのご意見は、ネットワークの信頼性確保という観点から、通信方式の選定評価やシステム設計時の参考とさせていただきます。</p>

		考える。	
3	P.24 Ⅲ-2. 主要機能(4)～送信タイミング分散機能	<p>&lt;意見内容&gt; 各通信ユニットの送信タイミングを分散させる手順として、「各通信ユニットが時刻同期をとり、送信タイミングを分散させる」とあるが、(通信ユニットが決定せず)コンセントレータから各通信ユニットへ送信タイミングを指定する方法の方が安定した通信を確保できると考える。</p> <p>&lt;理由&gt; 通信ユニット間の通信で調整するよりも、コンセントレータからの指令の方が、以下の操作に対して簡易な手順でしかも確実に実施できると考えるため。</p> <p>①各通信ユニット間の時刻同期 ②各通信ユニットの送信タイミングの設定 ③通信ユニット増設・撤去時の設置数増減の把握、送信タイミングの再設定</p>	いただいた送信タイミング分散機能についてのご意見は、安定した通信を確保するという観点から、通信方式の選定評価やシステム設計時の参考とさせていただきます。
4	P17～P18 高層建物密集エリアの通信方式について	<p>&lt;意見内容&gt; 貴社資料によると、高層建物密集エリアでは無線が届きづらいため、PLC方式を適用するとしている。 PLC方式は、高層建物内の電気室(変圧器)～スマートメーター間の通信方式としては有効と考えられるが、地中配電網で入り組んだ都心部の高層建物密集エリアでは、パットマウント変圧器等からPLC方式で通信するには、分岐数や距離によって通信品質に懸念がある。</p> <p>&lt;理由&gt; 都心部のほとんどの高層建物には光ケーブルが引き込まれているため、この既設光ネットワークを活用することで通信品質の確保が期待できると考える。</p>	いただいた既設光ネットワークの活用というご意見については、通信品質確保等の観点から、通信方式選定やシステム設計時の参考とさせていただきます。